

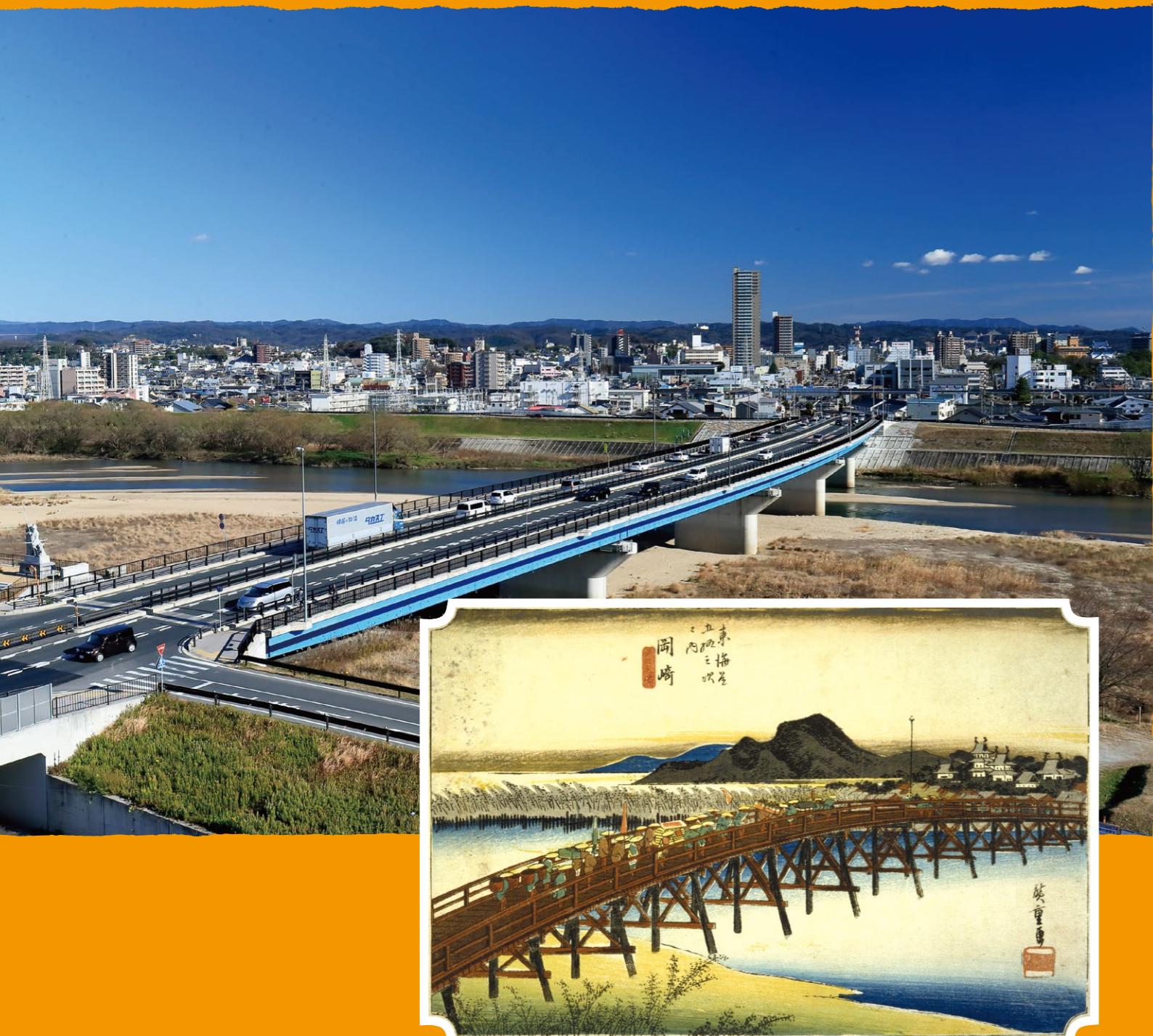


34

## 歴史と文化がかおる矢作の里

# 矢作東学区

YAHAGIHIGASHI



矢作東学区には矢作神社の森、矢作川、日本武尊や淨瑠璃姫の伝説など、素晴らしい自然や史跡が多くあります。それらを100年後の未来に受け継いでいきたいです。

平成27年度  
矢作東小学校6年  
三浦大和さん



将来、  
このまちで暮らす  
みなさんへ

淨瑠璃姫伝説や矢作神社で有名な矢作東学区。歴史のある町で生まれ育ったことを誇りに思っています。それらを今後も継承できるよう大切にし、みんなで環境保全に努めていきたいです。

平成27年度  
矢作中学校3年  
岩本莉緒菜さん



将来、車関係の仕事に就きたいと思っています。環境にやさしい、新しい車作りができたらいいなと考えています。僕たちの世代だけでなく、その次の世代のこととも考えて、きれいなまち、住みやすいまちづくりに関わっていきたいです。

平成27年度  
矢作北中学校3年  
角谷隼人さん



編集後記

岡崎市制100周年記念事業の一環として「岡崎まちものがたり」を作成しました。地域が積み重ねてきた歴史を振り返りつつ、さまざまな文化遺産、逸話、自然景観を地域の自慢として取り上げました。学区の皆さんにとって、わがまちを見つめ直すきっかけになれば幸いです。

資料収集、写真撮影には作成委員の皆様にご尽力いただきました。また、作成にあたりご協力いただきました各位に対して、心より厚くお礼申し上げます。



2015/12/03

〔作成委員会〕 今泉賢一/三浦徳雄/八田導英/  
畔柳昇/永田忠彦/鈴木隆雄/鈴木良博/清松治子/  
白石和宏/湯谷和久/大原正義/川喜田隆司/鋤柄欣宥

〔参考資料〕 矢作の里/わがふるさとやはぎ東/やはぎ/矢作町の歴史/矢作橋のたもと/写真で綴る矢作町五区60年/岡崎市史矢作史料編/矢作町誌(大正版)/矢作町誌/新編岡崎市史11史料現代/やはぎお宝マップ/矢作東小学校100周年記念誌

〔表紙写真〕 上: 矢作町から見た矢作橋と岡崎城/下: 歌川広重『東海道五拾三次 岡崎・矢矧之橋』(国立国会図書館蔵)

岡崎市制100周年記念事業

岡崎まちものがたり 34 矢作東学区まちものがたり

発行 2017年1月





7 市内初のエレベーター付き歩道橋	6 やはざかんオープン記念式典 (平成20年)	5 矢作町に移転した県警第二交通機動隊(昭和62年)	4 開業当初からの駅舎だった改築前の矢作橋駅(昭和48年)
二〇一五年・平成25	二〇〇八年・平成20	一九九九年・平成11	一九八九年・平成1
二〇一三年・平成27	一九九二年・平成4	一九八七年・昭和62	一九六八年・昭和43
二〇〇五年・平成17	一九七四年・昭和49	一九七二年・昭和47	一九六九年・昭和44
二〇〇八年・平成1	一九七八年・昭和53	一九七三年・昭和58	一九六〇年・昭和35
矢作東小学校創立100周年記念式典を挙行	矢作東交番が矢作橋たもとから矢作橋駅前に移転	矢作東学区こどもの家が開設	東洋レーヨン岡崎工場が操業を開始…③
第16代目矢作橋の付け替え工事が完了	愛・地球博「あいち山車・からくり総揃え」に	矢作市民センターが開設。矢作支所もここに移転	矢作町三区の祭礼山車が岡崎市有形民俗文化財に指定(1973年に矢作町二区の祭礼山車も指定)

矢作東交番が矢作橋たもとから矢作橋駅前に移転

愛・地球博「あいち山車・からくり総揃え」に

矢作東学区こどもの家が開設

矢作市民センターが開設。矢作支所もここに移転

矢作東学区市民ホームが開設

矢作マート協同組合Aコーポ矢作店が開店

矢作中学校が矢作川河川敷で第1回アースワークを開催…⑧

矢作東学区市民ホームが開設

石田茂作氏が廃瓦塔を建立

矢作東学区市民ホームが開設

矢作東交番が矢作橋たもとから矢作橋駅前に移転

矢作東学区こどもの家が開設

矢作橋たもと「出合之像」建立

矢作東交番が矢作橋たもとから矢作橋駅前に移転

矢作支所も矢作市民センター内からここに移転

国道1号にエレベーター付き歩道橋が完成…⑦

西郷地域交流センター「やはざかん」開館…⑥

旧碧海郡矢作町役場(昭和初期)

毎年恒例のアースワーク(写真は平成24年)…⑧



矢作東学区の表玄関「矢作橋」と「出合之像」。橋の上で野宿をしていた日吉丸(豊臣秀吉)。通りすがりの野武士に槍で小突かれ、怒って槍を掴んだ。これが後の名将、蜂須賀小六との出会い…という物語が像のモチーフ

## 名所旧跡を訪ねる

歴史と文化を受け継ぐまち・矢作東学区の

### 数々の文化財と 矢作神社例祭

矢作東学区は古来の歴史と文化を数多く受け継ぐ古式ゆかいなまちであり、それがまちの発展と文化向上の基礎となっています。それぞれの神社仏閣にはまちの「たからもの」が数多く散在しています。

市指定有形文化財には絵画の「絹本著色蓮如上人像・絹本著色徳川信康像」(勝蓮寺所蔵)、工芸品の「雲珠形松平親氏位牌」(光明寺所蔵)、「獅子牡丹文鎌倉彫香合」(勝蓮寺所蔵)、有形民俗文化財には祭礼山車(矢作二区・三区所蔵)、矢作神社絵馬群(十

二点、矢作神社所蔵)等があります。

毎年10月2日には矢作神社例祭が執り行われ、祭典では長瀬樂人会の雅楽演奏とともに浦安の舞が奉納されます。出店が軒を連ねる境内では夜になると奉納演芸大会が催され、楽しいアトラクションで盛況です。早朝より2台の祭礼山車を矢作神社



「花の撃」当日の旧東海道のにぎわい

へ奉納。その後は町内を曳き廻し、お囃子や子どもによる祭礼踊りが華を添えます。当日は市内外から数多くの見物客が訪れ、山車が町の中央にさしかかると祭りは最高潮を迎えます。

また、文化財指定はされていませんが、5月第2日曜には時宗寺院の誓願寺で「花の撃」が催され、境内のお堂で農作物の吉凶を占う「おためし」が行われます。同時に祝迦の花祭りと淨瑠璃姫の供養もあり、旧東海道筋には出店が数多く並びます。多くの見物客で町は大いににぎわいます。



新田義貞ゆかりの「うなり石」と地名の故事を伝える「矢竹藪」

知つておきたい  
うなり石

足利尊氏と矢作川で戦った新田義貞は、日本武尊の故事にならい神前で戦勝を祈りました。すると突然、本殿前の石がうなりだします。

「これは神のご加護」と意を強くしました。故事を伝える「うなり石」は矢作神社の拝殿南西にあります。

うなり石

</div

